

銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name <input type="text" value="匿名希望"/>	e-mail <input type="text"/>
Title <input type="text"/>	
Message <input type="text"/>	
<input type="button" value="とうこう"/>	

[2332] ご報告ありがとうございます。 2011年1月9日 8時50分

竹山智康 さん e-mail

おはようございます。本郷郵便局の竹山智康です。
 ブルーアイズさん、ご報告ありがとうございます。銀杏企画の皆さんは地道な溝板活動を経てバザーを迎えるのですね。ご苦労様です。
 私の住む町(は、実名で発言してる手前、非公開にします。ご了承下さい。)の福祉施設は(以下「私の福祉施設」と略す)、私の住む町が「福祉祭り」というイベントを実施するのでそれに参加し、某大手食品メーカーが提供して下さる食品をバザー形式で販売しています。私の福祉施設は銀杏企画様と比べると質・量とも見劣りしますが、そもそも参加しているメンバーさんの日常活動の勢いが違うのですね。この点は学ぶべき点です。そうした勢いの差が、精神障害者が利用できる社会資源の充実ぶりに表れているのかなと思います。やはり何事も受け身ではダメで自ら勝ち取らなくてはダメなのですね。
 銀杏企画のバザーに話を戻しますが、品物を提供して下さる文京区民はどのような方が多いのか、またバザー当日は大変な賑わいのようですがお客さんはどのような方が多いのか、さらに私、朝日新聞で銀杏企画のバザーを紹介する記事を読んだ記憶があるのですが、メディア戦略を誰が担っているのか教えて頂けるとありがたいです。
 ブルーアイズさん以外の銀杏企画OB及び現役メンバーさんの意見も伺いたいです。

[2330] 私の考える範囲ですが… 2011年1月8日 20時7分

ブルーアイズ さん e-mail

こんばんは。ブルーアイズです。

竹山さん、文京区での精神障害者の理解に果たした銀杏企画の活動ですが私の考える範囲でご報告させていただきます。
それはまず第一に毎年行われる銀杏のバザー活動だと思います。

バザーに出す品物を集めるのに、メンバーさんたちが品物募集のポスターやビラを自分たちで文京区内のお店やお宅を歩き回って配るのです。

お店にポスターを張らせてもらうよう頼み、冷たく断られても気を取り直して次の店とかなりつらい思いも致します。

それは銀杏企画のすぐ近くだけではなく、根津や小石川、湯島などのかなり遠い地区も歩いて回ります。

そして品物提供の電話があると自分たちで台車を引いて行ってもらいに行きます。

かなり遠い地区は職員さんたちが車でもらいに行ってくれますが…

品物を提供していただいたお宅にはお礼状をお出して銀杏の紹介などもします。

それで銀杏のことをよく知り、毎年品物をご提供くださる方もいます。

品物募集のポスターやビラだけでなく、バザー開催のポスターやビラも配ります。

そしてバザー当日は毎年押すな押すなの大盛況となり、入場整理券200枚を毎年用意します。

毎年来てくださる常連さんたちもいます。

このバザーを通じて銀杏を知っていただいて精神障害者に対する理解も少しずつなされてきたのではと思います。

まだご紹介したい活動もありますがまた明日にでもさせていただきます。

[2329] 福祉ネットワーク 1月10日～1月13日の放送 2011年1月8日 16時7分

番組案内さん e-mail

福祉ネットワーク

教育テレビ 月～木 午後8:00～8:29

再放送は翌週 午後0:00～0:29

1月10日～1月13日の放送

月 10日 午後8:00～ (再)午後0:00～

介護百人一首 ー平成21年度入選・全作品紹介(1)ー

(再)＜アンコール＞出産をあきらめないで ー知られざる“不育症”ー (2010年11月11日放送)

火 11日 午後8:00～ (再)午後0:00～

介護百人一首 ー平成21年度入選・全作品紹介(2)ー

(再)＜アンコール＞ハートをつなごう 働くことがツライです (2010年10月25日放送)

水 12日 午後8:00～ (再)午後0:00～

シリーズ 統合失調症(1) 診断・治療 “最前線”

(再)＜アンコール＞ハートをつなごう 働くことがツライです (2010年10月26日放送)

木 13日 午後8:00～ (再)午後0:00～
 シリーズ 統合失調症(2) 早期支援と“学校”
 (再)＜アンコール＞ “読書”というよろこび ―日本点字図書館 創立70年― (2010年10月28日放送)

NHK福祉ネットワーク
<http://www.nhk.or.jp/heart-net/fnet/>

[2328] 『ちょっと前の日本の暮らし』 2011年1月8日 12時45分

村山春樹 さん e-mail

『ちょっと前の日本の暮らし』
 中川誼美 著／中央公論新社 740円

茅葺き屋根、薪で焚くお風呂、かまどで炊くご飯、囲炉裏を囲んで身体の細胞が喜ぶ旬の食材を皆で食べる。そんな50年前にはあたりまえの地方の暮らしを再現した旅館「綾部吉水」(京都・綾部市)をつくってしまったのが、著者の中川誼美さんだ。ほかにも中川さん経営の宿があり、その経緯や熱いポリシーは2010年の本紙連載「宿屋レジスタンス」でも披露された。

55歳からの旅館業への転身はそこだけを見たら容易なことではないとうつる。だが、経済成長へとひた走った最中には見えなかったこと、感じられなかったことを、感じ、見えるようになった時、中川さんの前には「ちょっと前の日本の暮らし」を伝道するに格好な仕事が待っていたのだろう。

五感を磨くこと、温かい心の通い合い、子どもの笑顔、職人技の復活など、どう「今」の暮らしに取り入れるのか？ ゆっくりした時間が流れるお正月、こたつのぬくもりで考えたい。(東)

(本の価格はすべて税抜きです)

『ふえみん』2011年1月1日号
 7ページ
 書評

[2327] 「イクメン」知事は呑気すぎる？② 2011年1月8日 12時32分

本間勝一 さん e-mail

知りあいの派遣社員の女性は、妊娠してつわりが酷く、仕事を休みがちになったが、その時点で派遣先から「変えてくれ」の一言で辞めさせられた。派遣の世界では女性ですら事実上、産休・育休を取る権利はない。

本来派遣とは資格取得などのために限定的に働きたい人のための制度である。それを企業が拡大解釈して雇用調整のために利用した。その問題を解決せずに育休を取れと叫んだところで意味はない。

たとえば、行政の長のような立場の人なら、自らが育休を取って啓発するよりは、雇用調整のための派遣労働を廃止し、全員が育休を取る権利を持てる社会環境を実現するよう尽力することが先決ではないだろうか。

私の目から見ると、知事の育休はあまりにも呑気すぎる。

『週刊金曜日』2010年11月5日号
60ページ

[2326] 「イクメン」知事は呑気すぎる？① 2011年1月8日 12時30分

本間勝一さん e-mail

「イクメン」知事は呑気すぎる
〇〇 〇〇(〇〇歳)
派遣社員

広島県知事の男性が、知事としては初めて育休を取るそうだ。その前には、東京都の区長が育休を取って話題になった。

今は育休を取る男性も増え、「イクメン」などと呼ばれ、できる夫の代表のように言われているが、それはあくまでも正社員の視点から見た話だ。なぜなら、世の中には育休の権利すらない人がたくさんいるからだ。

私にも六歳の子どもがおり、共働きだ。しかも妻は看護師で、夜勤や土日勤務があり、父子家庭状態の日も多い。子どもがゼロ歳の頃は、一人で夜通し世話をし、一睡もせずに仕事に行くこともあった。それは、イクメンなどという甘いものではない。育休は喉から手が出るほど欲しいが、もし私が育休を取りたいと言ったら、会社から「ずっと休め」と言われるだろう。

[2325] 銀杏企画OB及び現役メンバーの皆さんへ 2011年1月8日 0時59分

竹山智康さん e-mail

こんばんは。本郷郵便局の竹山智康です。
ブルーアイズさん、こんばんは。ご丁寧な挨拶ありがとうございます。
東京23区で一番精神保健福祉が進んでいるのは練馬区だと聞いていますが、『文京区心の健康ガイド』という小冊子を拝見すると文京区も先進地域ですね。東大病院をはじめ医科歯科大や順天堂大といった大学病院があるといった立地条件からくる行政などの施策もあったのでしょうか、銀杏企画OB及び現役メンバーの活動も大きかったのではないのでしょうか。いったいどんな活動をして来たのかご教示いただけると幸いです。

[2323] 故郷みたいですね 2011年1月7日 20時53分

ブルーアイズさん e-mail

たびたびブルーアイズです。

今日は会社も休みだったもので診察に行き、その足で銀杏を訪れました。銀杏の皆さんからは歓迎されないと自分勝手に思い込んでいましたがみなさんに歓迎していただいたのはありがたかったです。おまけに今日は昼食会で料理班の人が作ってくれたクリームシチューにピザ、そして某メンバーさんが成人式を迎えるのでそれを祝う手作りケーキなどを私の分も取っておいていただいていた私は心を温かくしながらいただきました。銀杏を帰るときは「ブルーアイズさん、また来てくださいよ」「OB夕食会で待っていますよ」と声をかけていただきうれしかったです。今日は銀杏に行ってよかったです。

明日から3連休ですね。寒くなりそうですが皆さん体調には気を付けてください。

[2322] ありがとうございます 2011年1月7日 20時38分

ブルーアイズさん e-mail

竹山さん、はじめまして。
銀杏OBのブルーアイズと申します。
バザーボランティアに参加していただけたことと
OBの私からもお礼を申し上げます。

竹山さんに手伝っていただけたことも思いついたのですが
銀杏の職員さんやバザーの実行委員さんを差し置いて
でしゃばった真似もできないので書き控えさせていただきます。

ありがとうございます。あらためてお礼申し上げます。

[2321] 銀杏企画バザーボランティア参加希望
年1月5日 22時11分 投稿（再掲載） 2011年1月7日 10時13分

2011

竹山智康さん e-mail

初めて投稿します。私、銀杏企画様のすぐそばにある本郷郵便局に勤務する竹山智康と申します。昨年5月10日より障害者枠で本郷郵便局に採用になり勤めております。障害者枠と言葉からも分かる通り、私自身精神障害者です。

私自身の考えですが、郵便局のような公益企業は利益追求ばかりだけではダメで地域社会に根差した公益活動をするべきだと思います。現在でも実際ご来局いただければお分かり頂けるのですが、1階ATMコーナーの隣に設置してある机の上に文京区の区報など行政の配布物を置いてあります。こうした活動をもっと盛んにしたい。郵便局をもっと利用して頂きたいと思います。郵便局にしても福祉のお仕事の様な大きなマーケットが郵便局ファンになって頂けることは利益です。

まずは臆より始めよ、と言います。私自身地元の銀杏企画様の活動に協力させて頂くことで郵便局に何が出来るのか学びたいと思います。是非バザーのお手伝いをさせていただきます。

なお、上記は私の個人的見解で、本郷郵便局の公式見解ではないことを確認しておきます。

まへのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

2332

記事削除

powered by **du one**
NET